# Functions 機能一覧

○: 基本仕様　●: 標準装備仕様　◎: 有償付加仕様　☆: 建物用途別おすすめ仕様

| 分類 | 仕様 | 内容 | P | R | B | EP |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 運転方式 | 乗合全自動方式<br>(乗り捨て方式) | 行き先階を登録するだけで、エレベーターの戸閉め、出発、到着、戸開きなど一連の動作を自動的に行います。エレベーターは乗場の呼び登録、かご内の行き先階ボタン操作による呼び登録を全て記憶し、それに応じて運転方向の階床順にサービスをします。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 2台群乗合全自動方式 | 2台のエレベーターを効率良く運転する群乗合方式です。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 3台(or 4台)全自動群管理方式 | 全エレベーターの状況を監視してサービスの最適化を図る全自動群管理方式です。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | かご内専用運転 | 乗場呼び登録を無効にして、かご内の行き先階呼び専用で運転します。 | ◎ | ◎ | ○ | — |
| 管制機能 | 初期微動感知地震時管制運転<br>(P,S波感知〈リスタート機能付き〉) | 地震の初期微動を感知し、かごを最寄り階に停止させます。 | ● | ● | ● | ● |
| | 緊急地震速報利用地震時管制運転 | 気象庁緊急地震速報を受信して地震時管制運転を行います。(受信装置は別途工事) | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 火災時管制運転 | 火災が発生したとき、エレベーターを自動的に避難階に呼び戻し待機します。 | ◎ | ◎ | ◎ | — |
| | 自家発時管制運転 | 停電時に、建屋側の自家発電源でエレベーターを避難階へ運転させます。 | ◎ | ◎ | ◎ | — |
| | 停電時自動着床装置 | 停電時に、バッテリー電源でエレベーターを最寄り階へ運転させます。 | ● | ● | ● | ● |
| | ピット冠水時避難運転*1 | ピットの冠水を検知すると、エレベーターが運転を休止します。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 保護機能 | ドア過負荷反転装置 | 戸の開閉時に戸に加わる外力が一定値を超えた場合に戸が反転します。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ケアフルセンサー<br>(乗場側利用者検知機能) | 乗場側へ向けてセンサーを設置。戸が閉まり始めているときに、エレベーターに乗り込もうとする人を検知すると再び戸が開きます。 | ●☆ | ●☆ | ○ | ●☆ |
| | マルチビームドアセンサー | 出入口のほぼ全面を検知するセンサーが、乗り降りする人を検知すると再び戸が開きます。 | ●☆ | ●☆ | ○ | ●☆ |
| | ドアシグナル付き<br>マルチビームドアセンサー | マルチビームドアセンサーに加えて、セーフティシューに設置されたドアシグナルが戸の閉まり始めるタイミングをお知らせします。 | ◎☆ | ◎☆ | ●☆ | ◎☆ |
| | ラインキャッチセンサー付き<br>マルチビームドアセンサー*2 | マルチビームドアセンサーに加えて、かご戸に設置された感圧センサーが、ひも状の細いものの挟まれを検知すると再び戸が開きます。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | かご内停電灯(バッテリー自動充電式) | 停電時にバッテリーで停電灯を点灯します。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ネクストドライブ | エレベーターが着床した際に、乗場戸の敷居に物などが挟まり戸が開かない場合、次の階へ運転して戸を開きます。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 同時通話方式インターホン | 非常時の呼び出しなど、かご内と管理室間で通話ができます。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 両側セーフティシュー*3 | 閉まりかけた戸に乗客や荷物などが挟まれたときに、これを検出して戸を開きます。 | ◎ | — | — | ◎ |
| | ケアフルドア<br>(かご戸袋引き込まれ低減機能) | 戸がゆっくりと開き始め、かご内の戸袋付近に近づく利用者の手や荷物などをセンサーが検知すると、音声案内で注意喚起します。(音声案内装置が必要となります) | ◎☆ | ◎☆ | ◎☆ | ◎☆ |
| 福祉対応 | 着床時行先階ボタン点滅機能 | かごが目的階に近づくと、その階の行き先階ボタンが点滅し、到着を事前にお知らせします。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ハイコントラスト凸文字ボタン | 点灯していない状態の見やすさと、触ったときの分かりやすさに配慮しています。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 大型乗場ボタン | 両手に荷物を持った人でも押しやすいように、大型のボタンを採用しています。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 大型戸開ボタン | 戸閉ボタンとの押し間違いを抑止するため、戸開ボタンを大きくしています。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 敷居溝幅10mm | 敷居溝幅を10mmに縮小し、乗り降りの際の不安感を軽減します。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 敷居間ギャップ10mm | かごと階床との隙間を10mmに縮小し、乗り降りの際の不安感を軽減します。 | ○ | ○ | ○ | — |
| | 気くばり操作盤 | 子どもから高齢者まで多くの人がスムーズに操作できるよう、操作ボタンを床から約1000mmの高さに配置しています。 | ◎☆ | ◎☆ | ◎☆ | ◎☆ |
| | 車いす兼用エレベーター仕様<br>(P型-6人乗りは除く) | 車いすに乗ったままで利用できる乗場ボタン、かご操作盤、鏡*4やドアセンサーなどを装備します。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 視覚障がい者対応仕様 | 目の不自由な方への配慮として、操作ボタンの点字銘板や運行状況の音声案内を装備します。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 発音式かごボタン | かご内のボタンを操作したとき、電子音を鳴らしてボタン操作を伝えます。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | インターホン応答表示灯 | インターホンボタンの操作時と外部からの応答時に、操作盤に設置した表示灯を点灯させます。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | フルハイトミラー(ステンレス鏡面) | 車いす使用の方の乗り降りの利便性とかご内の開放感を高めます。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| セキュリティ | シークレット運転 | かご内で行き先階ボタンを長押しすることで、エントランス階にある乗場インジケーターの階数表示を消灯した状態で運転します。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | かご戸・乗場戸防犯ガラス窓付き<br>(網入り合わせガラス・ドア面との段差なし) | 戸にガラス窓を設けることによって防犯効果を高め、利用者に安心感を提供します。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | かご戸・乗場戸大型防犯ガラス窓付き<br>(網入り合わせガラス・ドア面との段差なし) | | ◎ | ◎ | ◎ | — |
| | 高音声センサー付き最寄り階停止運転 | 乗客の発する高音声を検出し、エレベーターを最寄り階へ停止します。 | — | ◎ | — | — |
| | かご内防犯カメラ | かご内の状況を監視室などでモニターできます。かご内での犯罪やいたずら抑止に効果的です。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |

*1 冠水検知時、エレベーターが最下階に停止している場合は、待避階に運転後休止します。
*2 P型4枚戸中央開きの場合は、適用不可となります。
*3 P型乗場戸片開きの場合は、適用不可となります。
*4 トランク、二方向出入口、展望窓(背面)を採用する場合は凸面鏡となります。

○: 基本仕様　●: 標準装備仕様　◎: 有償付加仕様　☆: 建物用途別おすすめ仕様

| 分類 | 仕様 | 内容 | P | R | B | EP |
|---|---|---|---|---|---|---|
| セキュリティ | かご内液晶インジケーターへのカメラ映像表示 | かご内の映像をかご内液晶インジケーターに表示し、犯罪抑止効果を高めることができます。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 乗場液晶インジケーターへのカメラ映像表示 | かご内の映像を乗場液晶インジケーターに表示し、犯罪抑止効果を高めることができます。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 防犯運転 | 専用ボタンを押し、行き先階ボタンを押すと目的階まで直行します。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 画像解析システム連携 | 防犯カメラや専用端末での画像解析システムによる顔認証により、セキュリティ解除やエレベーター連携を行います。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | ダブルセキュリティ | エントランスとエレベーターのダブルロックでセキュリティ性を高めます。(当社と保全契約が必要となります。) | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | BIVALE | 建物内の入退室管理と連携し、セキュリティ性を高めます。(当社と保全契約が必要となります) | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 利用制限・停止階制御 | エレベーターの利用者を制限したり、停止階を制御することで、セキュリティ性を高めます。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 案内機能 | 文字表示の英文併記 | 外国人利用者に配慮して、標準文章の和文と英文の文字を併記します。(通常運転時) | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 緊急時4カ国語表示・放送 | 地震感知時など、緊急時には4カ国語の表示と放送(日本語・英語／中国語・韓国語)をします。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 愛情アナウンス | かごの混み具合や利用者の乗り降りの有無、ボタンの操作状況などに応じて音声案内します。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 非常放送用スピーカー | 建屋から支給の非常放送をかごのスピーカーで放送します。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 音声案内装置 | 階床案内など乗客に対して各種案内を放送します。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | ペットボタン | かご内のボタン操作で、乗場インジケーターにペットが同乗していることを表示します。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | ホールランタン | 乗場で、かごの到着、運転方向をお知らせします。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 到着予報チャイム | かごが到着する直前に、主に乗場の乗客にチャイムでお知らせします。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | スピーカー音量調整用アッテネーター | 建屋から支給の音源をかごのスピーカーで放送する際の音量調整が可能です。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 運転サービス | パーキング運転 | スイッチ操作によりエレベーターをパーキング階に呼び寄せ、戸閉じし照明を消灯して休止します。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 気くばり配車運転*1 | エレベーターの利用パターンを学習して配車することで待ち時間を短縮します。 | ○ | ○ | — | ○ |
| | 可変速ドライブシステム*2 | かご内乗車率に応じてエレベーターの最高速度を上げる機能です。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 自動休止スケジュール運転 | タイマー設定により、自動的にエレベーターの休止と運転を切り替えます。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 停電時低速継続運転装置*3 (定格速度45、60m/minのみ) | 停電発生時に安全装置などを確認した後、約10分間バッテリーにてエレベーターを低速で継続運転します。(停電時自動着床装置との併用はできません。) | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 省エネルギー機能 | かご照明及び換気扇の自動休止 | 所定の時間エレベーターが利用されない場合は、自動的に照明を消灯、換気扇も停止させます。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 回生システム*3 | エレベーターの運転状況により発生する回生電力を建物内で利用します。 | ◎ | ◎ | ◎ | — |
| クリーン機能(3密回避機能) | 密集回避運転*4 | かご内の積載量に応じて、密集度合いを3段階に分け、段階に合わせた運転制御・注意喚起を行い、かご内の密集を回避します。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | かご内クリーン運転*5 | エレベーターの利用後に、一定時間が経過すると、次の利用者のために、自動で戸を開き強制換気ファンを回してかご内の空気を入れ替えます。さらに、空気を入れ替えた後に、自動で戸を閉めてナノイーX発生装置により、かご内を清潔に保ちます。 | ◎ | ◎ | ◎ | — |
| | ハンドレール抗菌処理 | ハンドレールに抗菌処理を施します。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 手垢汚れ防止用クリアフィルム付き*6 | 主操作盤(行き先階ボタン部のみ)・横型操作盤に、ご利用に伴う手垢汚れを防止するクリアフィルムを貼りつけます。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | センサー一体型タッチレスボタン*7 | ボタンに指を近づける動作をセンサーが検知し、非接触でかご内の行き先階登録や乗場の呼び登録をすることができます。 | ◎ | ◎ | ◎ | — |
| 利用者サービス | かご行先階ボタンのいたずら登録キャンセル機能 | かご内の行き先階ボタンが、かご内の人数に比べて多数押されている場合は、いたずら操作と検出して、かご行き先階登録を一括キャンセルします。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | リモートメンテナンス用インタフェース | 運転状態の異常信号を当社の管制センターに伝送する「エレベーターリモートメンテナンス」用のインタフェースを装備しています。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 反転時呼び一括キャンセル機能 | かごの運転方向が反転する時、逆方向の呼び登録を取り消します。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | かご行先階ボタン誤登録取消し機能 | 誤って登録した行き先階のボタンを2度押しすることにより、登録を取り消します。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | かご照明調光機能*8 | かご天井照明を調光することができます。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |

*1 エレベーターの仕様により、適用されない場合があります。
*2 定格速度105m/minの場合、オーバーヘッド最小寸法が変更となります。制御盤・巻上機頂部配置の場合は、定格速度105m/min、高速モード120m/minは適用不可となります。EP型は、定格速度45m/min適用不可の為、高速モード60m/minは除外となります。
*3 制御盤・巻上機頂部配置の場合は適用不可となります。
*4 定格積載量1000kg未満は非推奨となります。乗車率を抑制するため、運行効率が低下します。
*5 かご上にクーラーが設置される場合は適用不可となります。かご内法間口1600㎜を超える場合は、当社営業担当者にお問い合わせください。
*6 ステンレスヘアライン、ステンレスバイブレーションのみの対応となります。ステンレスバイブレーションにおいては標準仕様となります。
クリアフィルムは、爪や指輪、バッグなどによる剥がれや傷、経年による摩耗など、外的要因によるダメージ防止を保証するものではありません。
*7 操作盤はステンレスカバーとなります。かご内車いす用操作盤、気くばり操作盤は適用不可となります。
*8 C-01、S-01天井を採用する場合は、かご照明調光機能は適用できません。
※ nanoe、ナノイー及びnanoeマークは、パナソニック ホールディングス株式会社の商標です。

# Functions 機能一覧

○: 基本 仕様　●: 標準 装備仕様　◎: 有償 付加仕様　☆: 建物用途別 おすすめ仕様

| 分類 | 仕様 | 内容 | P | R | B | EP |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 利用者サービス | かご内展望窓付き(背面)*1 *9<br>(P型-11、13、15人乗りのみ) | かご背面側板に窓を設け、かご内の閉塞感を解消します。 | ◎ | — | — | — |
| | 蒸散型クーラー<br>(P型-6人乗り、R型-6人乗りは除く) | ピット排水が不要な蒸散型クーラーを採用。かご内の快適性が向上します。 | ◎ | ◎ | ◎ | — |
| | ナノイーX発生装置 | かご上に、水に包まれた微粒子イオンナノイーXの発生装置を搭載し、かご内の快適空間を演出します。 | ●☆ | ●☆ | ●☆ | ●☆ |
| | 戸開き時間延長ボタン | [開延長]ボタンを押すと、戸開き時間を延長することができます。 | ◎☆ | ◎☆ | ○ | ◎☆ |
| | 満員通過機能 | 満員時に途中の乗場呼びに応答せず運転することで、運転効率を向上させます。 | ◎☆ | ◎☆ | ◎ | ◎☆ |
| その他 | アフターメンテナンス | 据付工事が完成して、昇降機のお引き渡し後、3カ月間、お客さまの使用状況に合わせた機器調整のための保全作業を行います。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | エレベーター法定検査アラート機能 | 法定検査*3項目の実施有無を自動検出し、かご内液晶インジケーターでアイコン表示にてお知らせします。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | V2Xシステム対応 Hybrid-PCS*4 | 災害などで電力の供給が途絶えた場合でも、電気自動車と連携しエレベーターの運転を継続します。 | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | 出発階乗場側インターホン(三方枠組み込み) | 出発階乗場の三方枠に、非常時のかご内通話用インターホンを設置することができます。 | — | ◎ | ◎ | — |
| | 副操作盤*5 | かご内で出入口に向かって左側にも操作盤が付きます。 | ◎ | — | — | ◎ |
| | 天井高さ200mmアップ | かご内天井高さを200mmアップします。※EP型は150㎜アップとなります。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 軽故障時最寄り階着床運転 | 運転中に一時的な故障で停止した場合、安全装置が動作していない限り、最寄り階まで自動低速運転し、閉じ込め故障を低減します。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 過負荷検出装置(乗り過ぎ防止警報装置) | 戸が開いているときに、かご内の荷重が所定の値を超えた場合、警報を発して戸を開いたままにします。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 遮煙性能付エレベーター乗場戸 | エレベーターの乗場戸と三方枠、および乗場と敷居の隙間を気密材で密閉することで、エレベーターに遮煙性能を持たせます。(ガラス窓付きの場合は、特定防火設備扱いにはなりません。また、本仕様採用時、停電時自動着床装置および火災時管制運転が必要となります)<br>設置上の条件<br>・遮煙性能付エレベーター乗場戸を設置するためには、自動火災報知設備が必要です。設置義務の無い建物であっても、必ず設けてください。<br>・自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、遮煙性能付エレベーター乗場戸設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器を設置し、火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給してください。 | ◎ | ◎ | ◎ | — |
| | かご側板保護マット*6 | 荷物の搬入出時にかご側板を保護するマットを取り付けます。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | かご側板抗菌消臭保護マット | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | かご内デザインパネル | かご内保護マットや荷摺り板機能を有しつつ、意匠性・耐久性に優れたパネルを取り付けます。 | ◎☆ | ◎☆ | ◎ | ◎☆ |
| | かご内デザインマット | 滑りにくい表面加工やデザイン性の高い床マットです。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | かご床マット | 荷物の搬入出時にかご床タイルを保護するマットを取り付けます。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | かご内荷摺り | 荷物の搬入出時にかご幅木上端から240mm立ち上がりまでを保護するステンレス製プレートを取り付けます。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 400V電源 | 建屋支給のエレベーター動力電源400～440Vに対応した仕様です。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 絶縁トランス*7 | 医療機器、音響設備、OA機器、通信機器などを設置する建物において、低いノイズレベルを要求の場合、昇降路内に低次の高調波流出電流を低減する交流トランスを取り付けます。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 高調波抑制リアクトル*8 | 「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制ガイドライン」により、抑制が必要な場合、制御盤内に低次の高調波流出電流を低減する交流リアクトルを取り付けます。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | トランク付き*1<br>(P型*9-11、13、15人乗り、R型-9人乗りのみ) | かごの奥にトランクを設けることによって、奥行きのある台車などを運搬できます。 | ◎ | ◎ | — | — |
| | かご出入口二方向*1<br>(P型-11、13、15人乗り、R型-9、13人乗りのみ) | かご内の背面に出入口を設けます。車いす使用の方が、乗り込んだ向きのままで通り抜けられ容易に乗り降りできます。(寸法図につきましては別カタログ「アーバンエース HF Plus設計・施工のための資料」をご参照ください。) | ◎ | ◎ | ◎ | — |
| | 制御盤・巻上機頂部配置<br>(P型-6人乗りは除く) | 制御盤および巻上機を昇降路頂部に配置し冠水からの被害リスクを軽減します。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 巻上機・制御盤かさ上げ仕様*9 | 制御盤および巻上機を最下階プラス1階床に配置し冠水からの被害リスクを軽減します。 | ◎ | — | — | — |
| | 防錆対応 | 沿岸地域・多湿地域に設置されるエレベーターに防錆処理を施し、錆の発生リスクを軽減します。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 250kg超え台車搬出入対応<br>(P型-6、9人乗り、R型-6、9人乗りは除く) | エレベーター床の強度を上げることによって、一度に載せる重量物の搬出入重量上限値を拡張します。<br>※P型-11、13、15人乗り、R型-13人乗りは最大台車重量が定格積載量の半分となります。定格積載量1000kg超えの場合は最大台車重量が500kgとなります。<br>※床タイルは荷重用樹脂タイルの採用が必要となります。<br>※最大医療器具重量が500kg超えの場合は敷居間ギャップが30㎜となります。<br>*2<br>型式 / 最大医療器具重量<br>B-750 / 675kg<br>B-1000 / 800kg | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 非常用エレベーター仕様 | ・非常呼び戻し運転ボタン(エントランス階のみ)　・非常用銘板　・一次消防運転スイッチ<br>・二次消防運転スイッチ　・監視盤への接点出し | — | — | — | ○ |

*1 鏡を採用する場合は凸面鏡となります。*2 制御盤・巻上機下部配置の場合は適用不可となります。*3 建築基準法第12条の定期検査報告制度による検査項目の中で当社指定の一部項目となります。*4 定格積載量1000kg超えは適用不可となります。*5 P型乗場片開きの場合は、適用不可となります。*6 幅木上から床上高さ1800mmまでの取り付けとなります。*7 9人乗り以上、定格速度90、105m/minにおいて、絶縁トランスを採用の場合、または動力電源用の設備の電圧が400V級の場合、昇降路内法が拡がる可能性があります。詳細につきましては、当社営業担当者にお問い合わせください。*8 9人乗り以上、定格速度90、105m/minにおいて、高調波抑制リアクトルを採用の場合、昇降路内法が拡がる可能性があります。詳細につきましては、当社営業担当者にお問い合わせください。*9 制御盤・巻上機頂部配置の場合は適用不可となります。

※ nanoe、ナノイー及びnanoeマークは、パナソニック ホールディングス株式会社の商標です。※リニューアルは制御盤・巻上機下部配置になります。